

キーワード	内容
子育て	・子育てしやすいまち、子どもが元気に育つまち
〃	・女性の仕事に対する支援
〃	・子どもを生き育てる
〃	・子育てしやすいまち、子どもが元気に育つまち
安心	・老後に不安がないまち
〃	・誰もが安心して暮らせるまち
〃	・少し不便だけど安心してゆっくり暮らせるまち
健康	・いきいきと元気に暮らせるまち
〃	・長寿＝長生きできるまち
医療・介護	・里山、スローライフを生かした産業 医療、介護特区
防災	・災害に強いまち
定住	・子ども達が留まる町
〃	・若者が住み続ける都市
〃	・恵那市に住みたい、住んでみたいと思う町
〃	・長住＝永く住んでいたい、永く住みたいまち 住続都市
教育	・幼年期から将来になりたい職業を選択できる教育
〃	・将来の職業を見据えた、教育をする町
〃	・教育の充実
生涯学習	・生涯学習宣言都市
生きがい	・人は、人と関わる事で生きがいを感じる
誇り	・地域資源を住民が誇り高く思うまち
〃	・自分たちの住んでいるまちに誇りを持ち、他の地域との関係を大切にするまち
つながり	・環境や文化の中で生きていくことに対する教養を育み、人と人との関係を大切にするまち
〃	・医療、福祉活動の充実により人々のつながるまち
支え合い	・若者と高齢者が共存共栄し、ともに支えあうまち
〃	・助け合う心あふれる里(慈満都市恵那)
〃	・高齢者にやさしい街
バランス	・日々の生活で世代間の多様なニーズを受け止める街
真心	・様々な差異、障害、能力の如何を問わず、真心からふれあえるまち
救済	・困っている人を、救済するシステム
ひとつづくり	・文化、芸術活動の振興
〃	・地域に合った人作り
文化・芸術・歴史	・自分たちのまちの文化と歴史を大切にしたいまち
〃	・文化・芸術の発信
〃	・文化伝統を大切にしたい豊かな生活ができるまち
地域資源	・地域の「お宝」と市民の知恵が生きるまち
〃	・観光資源・歴史・文化を発信し、心のゆとりを感じさせるまち
〃	・地理条件に合った、作物・薬草・菌・地形・形状の活用
〃	・豊かな自然の恵みを生かすまち
交流	・地域や自然を豊かにするのは、人である為、交流人口を増大させる
〃	・リニア活用で暮らし・遊び・安心で便利な交流都市えな
共存	・山、木、古い街並みと共存
〃	・共生の街恵那
魅力	・将来に希望を持てる魅力あるまち
〃	・人がうらやむ魅力ある都市
〃	・魅力的でユニークな制度をもつまち
活力	・活力が感じられるまち
進化	・成熟時代であっても、時代と共に、文化的な進化を続ける社会を作る
成長	・人・地域・自然が調和し成長するまち
商い	・商いの元を作る事が大事
雇用	・働く場所の提供として工場の誘致も必要不可欠
行財政基盤	・行政は、抱えている膨大な情報を公開すること
〃	・サービス低下のないコンパクトシティ
〃	・生活環境が劣悪な場所では重点的に改善や整備をする

## 第2次総合計画における理念、将来像に関する意見について(まとめ)

1. 恵那市では、市民の皆様に分かりやすく、取り組みを進めていくべき方向を示した基本目標(柱)を立てようとしています。  
 ①【安心】“心配なく毎日を過ごせるまち、  
 ②【快適】“便利なサービスや生活環境が整備されたまち、  
 ③【元気】“一人ひとりが生きがいをもち、支え合いの中で充実した生活が送れるまち、  
 ④【成長】“リニアを活力として産業が発展するまち、  
 という原案を出させていただきましたが、その他に「こういうまちにしたい」という理念(キーワード)がありましたらお聞かせください。

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活で世代間の多様なニーズを受け止める街(バランス)</li> <li>・里山、スローライフを生かした産業 <u>医療、介護特区</u></li> <li>・リニアは夢でない現実を見る。スロー現象に対抗</li> </ul>
B	・【誇り】“地域資源を住民が誇り高く思うまち”
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>①～④の具体化は審議会で詰められるが、</li> <li>・例として本市の病院、6診療所の医療の充実を図り、どこでも医療を受けられ又、市民ボランティアによる見守りや福祉活動の充実により<u>人々のつながるまち</u>。</li> <li>・商業の発展はもとより、本市13地域にある<u>観光資源・歴史・文化</u>を発信し、心のゆとりを感じさせる<u>まち</u></li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み方向がはっきりと分かりやすいものにするために簡単にしたいです。</li> <li>①<u>子ども→子育てしやすいまち、子どもが元気に育つまち</u></li> <li>②<u>高齢者→老後に不安がないまち</u></li> <li>③<u>健康→いきいきと元気に暮らせるまち</u></li> <li>④<u>防災→災害に強いまち</u></li> <li>・誰もが幸せに暮らしてゆけるまちづくりに必要なことは絶対に考えなければならないし、永久的に終わりません。これくらい具体的だと議論も進めやすく、その分野に秀でた方の意見が集約しやすいと思います。</li> <li>※リニアに関しては、今の時点では全く「まゆつば」で、今は議論の時ではないと思っています。</li> </ul>
E	・4つの柱、すっきりしたキーワード、明るい未来が期待され良い思います。
F	・上記4項目に【ひとづくり】“文化、芸術活動の振興”を追加
G	・将来に希望を持てる魅力あるまち
H	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・快適・元気・成長と言うのは、個人個人が気持ちの中での柱でしかないと言うことです。市民の潜在的適応力に依存する事柄であり、行政が安易に触れる言葉でないことだと思います。</li> <li>1行政はこの<u>地域に合った人作り</u>を今以上に市民を巻き込んで教育・研修・研究に特化しなければならないと思います。<u>幼児教育・食育教育を前面に出し、他と違う幼年期から将来になりたい職業を選択させて、一心不乱に自ら選択した職業を着こうと努力するオランダ方式の教育は、地方自治が最も変革する有効の手段だ</u>と思います。方向性のやりたい事が将来像の無いままに同じレベルに無理やり押し込む教育は、狂育でしかないのです。恵那市は将来を考えて勉強する教育に変えるべきだ。</li> <li>2行政は、<u>生きがいを持って生活している人をまずは紹介し、その崇高な精神を広く伝える仕組みを作る事</u>です。<u>人は、人と関わる事で生きがいを感じる</u>ものです。そして多くの人とその事に共感しその教を習い未来の糧にするからです。恵那市は人作り講演を多く開催して、知的レベルを上げる事です。</li> <li>3行政は、<u>抱えている膨大な情報を公開すること</u>です。それはきちっとしたシステムは勿論の事、整備しても誰もがシステムの中で加工して提供できる体制を作る事です。鯖江市は先進地域であり、数々のシステムが構築されていますので、大いに参考になりますので視察や導入計画を考えるべきです。</li> <li>4行政側の人には、<u>商売の概念や時間的 개념が非常に希薄</u>であります。もともと市とは市場のいちという語源から来ていますが司法、立法の足かせを被せられてしまって、由来が本来の力が発揮できない時代を経過してしまった為に、<u>商いをしてはだめだ</u>と思い込んでいる人ばかりです。そうではなくって、堂々と商いをする、<u>商いの元を作る事が大事だ</u>と言う事を行政マンは知ってほしいのです。経済界の後押しが今だから出来るのです。</li> </ul>
I	・キーワードは多すぎない方がよいのでは。4本で可。その理念を支える心的価値観を醸成することも大切。
J	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原案賛成です。要はキーワードの中身を具体的にイメージしていくことだと思います。</li> <li>「成長」＝「活力」</li> <li>柱の中身として「生涯学習宣言」のまちの思いをもたせたい。</li> </ul>

K	<p>・【文化と教養】</p> <p>自分たちのまちの文化と歴史を大切にしまちづくり。 自分たちの住んでいるまちに誇りを持ち、他の地域との関係を大切にするまちづくり。 人が環境や文化の中で生きていくことに対する教養を育み、人と人との関係を大切にするまちづくり。 ・「*ユニバーサルな真心」文化、言語、国籍の違い、老若男女といった差異、障害、能力の如何を問わず、真心からふれあえる人が生きる術。（*一般的であるさま。すべてに共通であるさま。普遍的。） ・「未来あるまち」高齢化がすすむ社会で、恵那市は若者と高齢者が共存共栄し、ともに支えあう。</p>
L	<p>基本目標は4項目ですが、一項目付け加えて5項目としてはどうでしょうか。⑤として「活力」を加えてはと思っています。</p> <p>私は現在、アルバイトで名古屋に行っています。我が県の県庁所在地の岐阜市及び大垣市に7年くらい前まで仕事に行っていました。駅構内や駅前通など人の往来が少なく、ひっそりとしていて活力が感じられませんでした。スロー現象で名古屋に人が吸い取られているのが現状ではないかと思えます。人口は今後も減少して行き、現在ある市の合併がさらに進んで行くと言われていいます。</p> <p>そのような中で、恵那市が今後生き残るには、若い世代の人たちが恵那市に住んでみたい、住みたいと思う市にする必要があります。</p> <p>そのためには、観光事業も必要だと思えますが、市内で働く場所の提供として工場の誘致も必要不可欠だと思えます。そうする事により活力も自然と生まれてきて若者も市外にでて行かなくなると思えます。</p> <p>働く場所の提供があれば必ずと活気が生まれてくるのではないのでしょうか。また、女性の社会進出は目を見張るものがあり、女性の仕事に対する支援をしても良いと思えます。</p>
M	<p>・キーワードはもう少し短く簡単にしたらどうでしょうか？安心の町、快適な町etc。</p>
N	<p>基本目標(4本柱)の原案はとてもよいと思えます。ただ「子どもを生み育てる」という事が、この柱の中に入っていれば良いですが、取り組みを進めて行く中で必要なことだと思えます。</p> <p>子どもが増えたとしても、成人を迎える20才頃になると都会へ出て行ってしまふ。(例 大学がない、働く場所がない。)子ども達が留まる町へ。</p>
O	<p>・市民にとって分かり易いイメージ作りは大切であるが、高齢化が進み、顕著な人口減少と産業(地域)の停滞の続く時代に画一的に“成長”を挙げる手法は違和感を招く。(計画そのものの虚構)</p> <p>・成熟時代であっても停滞するのはなく、時代と共に、文化的な進化を続ける社会を作るのが望ましい。</p> <p>・市の“総合計画”は一般市民感覚から見て、身近な存在ではない現実がある中で、“こういうまちにした”という問いかけを広報紙等で一般的に呼びかけ、面白い提案を表彰するなどして、総合計画作りへの関心を高める活動に結びつけたらどうでしょうか。</p>

2. 現行の恵那市の将来像「人・地域・自然が調和した 交流都市」ですが、上記を踏まえ、新しい将来像(キャッチフレーズ)もしくは、「将来の恵那市はこうあるべき」という意見がありましたらお聞かせください。

A	<p>・共生の街恵那</p> <p>・サービス低下のないコンパクトシティ</p>
B	<p>・田舎で人口が減少し高齢化が進んでも、文化伝統を大切に豊かな生活ができるまちづくり</p>
C	<p>・「リニア活用で暮らし・遊び・安心で便利な交流都市えな」</p>
D	<p>・誰もが安心して暮らせるまち</p>
E	<p>・恵那市は生涯学習のまちを宣言いたしました。この理念を何らかの形で示せないものでしょうか。</p>
F	<p>・「人・地域・自然が調和し成長するまち」</p> <p>・「人・地域・自然が調和し成長するまちづくり」</p>
G	<p>・人がうらやむ魅力ある都市</p> <p>・若者が住み続ける都市</p>
H	<p>・地域の「お宝」と市民の知恵が生きるまち</p> <p>恵那市の今あるもの(「お宝」と人を生かしたまちづくりを行う。働く場、商店街などの要望が強いが、「お宝」を生かす町づくりから働く場などが考えられないか。</p> <p>・豊かな自然の恵みを生かすまち</p> <p>・少し不便だけど安心してゆっくり暮らせるまち</p> <p>地域単位で生活基盤(医療、介護、買い物、集える場、高齢者の足の確保)が最低限確保できる地域づくりをする。</p>

I	<p>・恵那市の将来像が何かではなく、今恵那市がやらなければならない事を述べさせて頂ければ以下の事のように私は推測します。</p> <p>1 <u>困っている人を、救済できる様に解決策マニュアルを作成し、常に更新と改良を重ねて、最終段階までプロセスを導くシステムを構築する。</u></p> <p>2 <u>生活環境が劣悪な場所では重点的に改善や整備に重きを置き、道路事情や耕作放棄地・少子高齢化等の時代的課題を解決するようにする。</u></p> <p>3 <u>地域や自然を豊かにするのは、人である為、交流人口を増大させ、さらに収入に結びつく施策に特化する。</u>例えば多くの趣味やスポーツを通じて、交流イベントを開催・企画・継続させて、独自の文化の発祥地とする。イベント等を通じて得た、奥義・示法は共同の財産として、本等を発刊し印税を資源とする企画。</p> <p>4 <u>地理条件に合った、作物・薬草・菌・地形・形状の活用を各方面から模索する活動をおこし企業化する。</u>リニアあくまでも移動手段のツールであるから、この地に特別な企業・観光・文化・人材・企画が無い限りただの通過点しか成り得ないのは明白である。</p> <p>だからといって萎縮する必要はない。恵那市は<u>将来の職業を見据えた、教育をする町</u>として、全寮制を取り入れた教育方法を必然的にしないと、明日の恵那市はない。</p> <p>小さな町だから、市民が決断すれば教育の方法は必ずや改革出来る。</p>
J	<p>・総合計画の全体像が一目で分かるような構造図がほしい。</p> <p>・将来像を構築するための骨格が4本柱。その肉付けは時代の変化に即応できる機能的な組織づけが必要となる。</p> <p>・キーワードは多すぎない方がよいのでは。4本で可。その理念を支える心的価値観を醸成することも大切。</p> <p>・例えば、将来のあるべき都市を支える情念は、  <u>長住＝永く住んでいたい。永く住みたいまち</u>  <u>超住＝チョウ住みたい・住続都市</u>  <u>長寿＝長生きできるまち・栖続都市</u></p> <p>・それは「もやいの里」(催合)<u>お互いが助け合う心あふれる里</u></p> <p>・「慈満都市」でもある。「もやいの心は“慈しみ”の心に支えられている</p> <p>・それは「春風秋霜」の里でもある。(一斎言誌後録33条)</p> <p>キャッチフレーズ ～<u>春風秋霜～ 慈満都市恵那</u></p> <p>慈愛に満ちた都市は「享受から貢献へ」という心が働く時に実現する。</p> <p>それは生涯学習都市「学んで生かす」の精神が生かされた時に実現への原動力となる。</p>
K	<p>・<u>高齢者にやさしい街</u>であることを念頭においたまちプラン</p> <p>「買い物、病院、交通手段、単居世帯に対するヘルプ、介護他」に加え、若い世代が住みたくなる魅力あるまちづくり。</p> <p>・<u>山、木、古い街並みと共存</u>できて、「映画のロケ地として有名」とか「<u>子育てしやすいまち</u>」、「<u>教育の充実</u>」など、既存の制度に必ずしもとらわれなくても魅力的でユニークな制度をもつまちづくり。</p> <p>・「<u>文化・芸術の発信</u>」</p> <p>大井宿、大正村、岩村城…とあるけれど恵那の文化って何だろう？</p>
L	<p><u>恵那市に住みたい、住んでみたいと思う町にすべきであると思います。</u></p>
N	<p><u>開き直りが必要では。</u>(田舎でも良い。便利が悪くてもよい…)</p>
O	<p><u>現行のままでよい。</u></p>